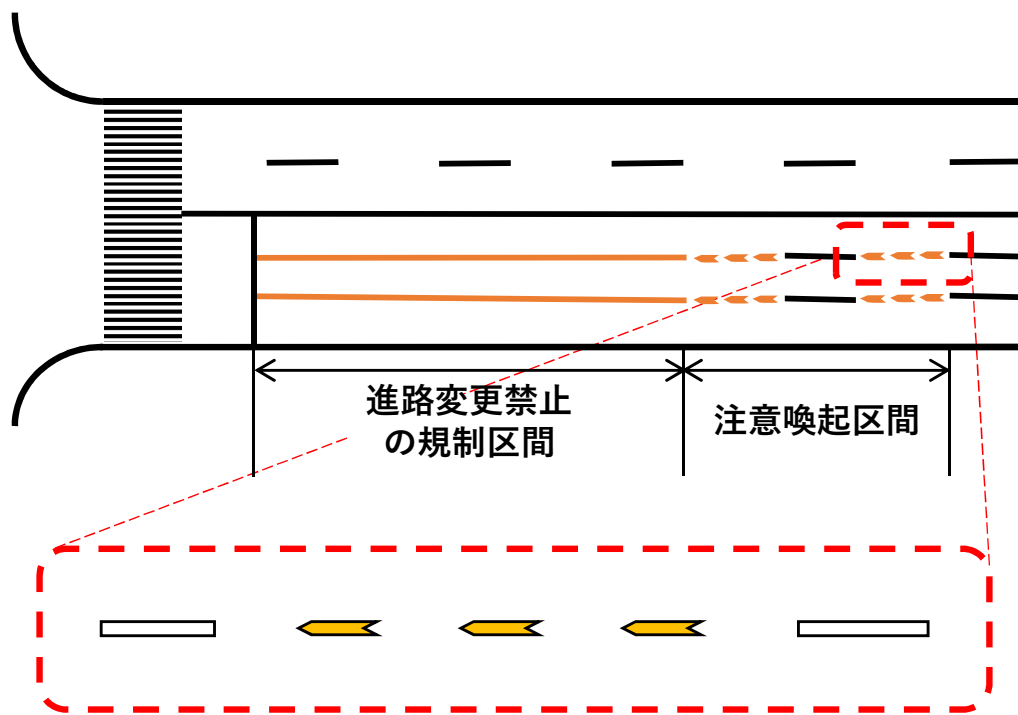


規制標示「進路変更禁止」の注意喚起表示の新設について

目的

車両の運転者に対し、事前に進路変更禁止の規制区間を知らせ、ゆとりを持って、進行を望む車両通行帯への進路変更を行えるようにすることで、交通の安全と円滑を図るもの

【注意喚起表示の設置イメージ】



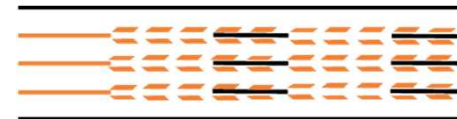
試行設置

東京都内の2か所の交差点で、2パターンの注意喚起表示を試行設置（令和3年1月16日～3月13日）

【矢羽根型】

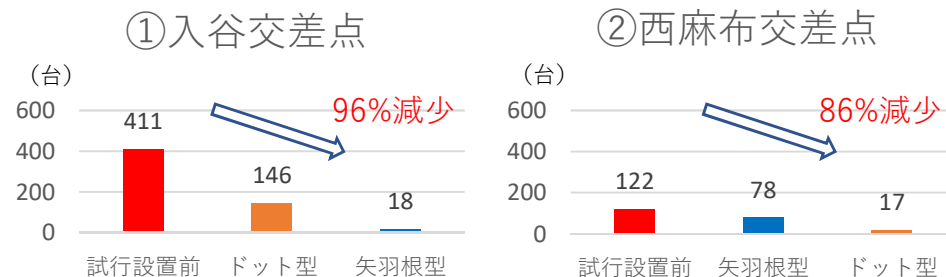


【ドット型】



検証結果

- 進路変更禁止の規制区間において進路変更を行った車両の台数（平日の7時～19時）は、試行設置後、大幅に減少



- いずれのパターンも注意喚起表示として一定の効果が認められたところ、ドット型は、設置費用が矢羽根型の約3.8倍で、車両の走行部分にも施工されるため摩耗が懸念
- 費用対効果の観点から、矢羽根型を法定外表示の標準仕様として設定